



食品化学新聞社WEBサイト

www.foodchemicalnews.co.jp

●購読のお申し込み、お問い合わせは
books@foodchemicalnews.co.jpまで

2025年1月23日付

小ロットから受託加工

濃縮野菜・果実エキスを供給

浜理PFST

浜理PFST（大阪市住之江区）は北海道千歳市に設置する食品加工工場において、小ロットから一般食品・健康食品原料受託加工事業に注力する。野菜・果実のエキスの製造で培った技術や設備を活用し、健康関連原料や素材の風味豊かな濃縮エキスなどで実績を持つ。浜理薬品栄養科学が窓口対応し、西社で最適な加工・製造を提案していく。

同社は浜理薬品工業のグループ企業。千歳工場を拠点として北海道産農産物を原料に用いた濃縮エキスやエキス末を中心

に受託製造を手がけている。HAMARIが長年手がける医薬品製造の管理手法を活用し、安全・衛生を考慮した設備とHACCP管理の徹底を特長に高品質なエキス製品を供給する。また、受託製造にあたっては食品原料が持つ機能性や風味をできる限り活かした製造を行っている。少量からの受託製造に対応できる

点が同社の強みであり、試作については濃縮エキスの場合は2Lから、エキス粉末の場合は1kgから対応可能だ。少量多品種の原料が求められるケースが多いサプリメント原料にも対応しやすい。設備の面では、原料摩砕用のマスコロイダーをはじめ、分離・濃縮に用いるコールドプレス機（油圧式しぼり機）は容量200L（圧力150kg/㎡）、遠心分離機は遠心力15000と20000~50000Gの2種を有し、併用すること

で細かい固形分や異物の沈降除去が可能だ。濃縮機は遠心薄膜式で減圧濃縮機について同型の2機を設置。液温20~90℃の任意の温度で処理でき、水で最大400L/hrの蒸発能力を有する。また、エキスの濃縮は大型の遠心薄膜濃縮機では約50Lまで、小型の場合は2Lまで濃縮できる。濃縮エキスのロットサイズは通常100~500kg。プレート式殺菌機も保有し、より熱履歴の少ない加熱殺菌が行える。

小スケールの設備を有すること、より小ロットの製造も可能となっている。乾燥機のスプレッドライヤーは、粉末専用のクリーンルームを設置し、50~100kg/日の処理能力を持つ。包装は濃縮エキス製品では1斗缶のほか、1kgボトル充填に対応。粉末は10kg包装を主体に小口包装も対応可能とする。

同社では機能性関与成分の抽出精製の実績を持つ。さらに同社品質管理部門では各種微生物試験や重金属、ヒ素、強熱安定試験、乾燥減量など幅広い項目で実施しており、HPLCによる定量試験など機器分析にも対応できる。原料の受け入れから製品出荷における安全性・信頼性にも貢献していく。